



# センター事業の概略と10年以上の活動を振り返って ：信頼関係の構築

坂江, 渉

---

**(Citation)**

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 12:27-28

**(Issue Date)**

2014-02-02

**(Resource Type)**

conference object

**(Version)**

Version of Record

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81005448>



「センター事業の概略と10年以上の活動を振り返って -信頼関係の構築-」

2014年2月2日 坂江 渉 (神戸大学)

はじめに

▼本報告・・・人文学研究科地域連携センターの事業概略と、10年以上の活動を振り返って  
みて思うこと、感じること。

一、人文学研究科地域連携センターの事業概略

▼事業の4つの柱

- ①歴史文化をめぐる関係者との交流と情報共有（協議会の開催 etc）：毎年1回
- ②まちづくり支援と自治体史の編纂協力
- ③災害時の歴史資料の救済
- ④地域遺産を活用できる人材の育成（学生教育と社会人向け教育）

▼現スタッフ—関連教員（特命を含む）7名、研究員（非常勤）5名→任務分担。

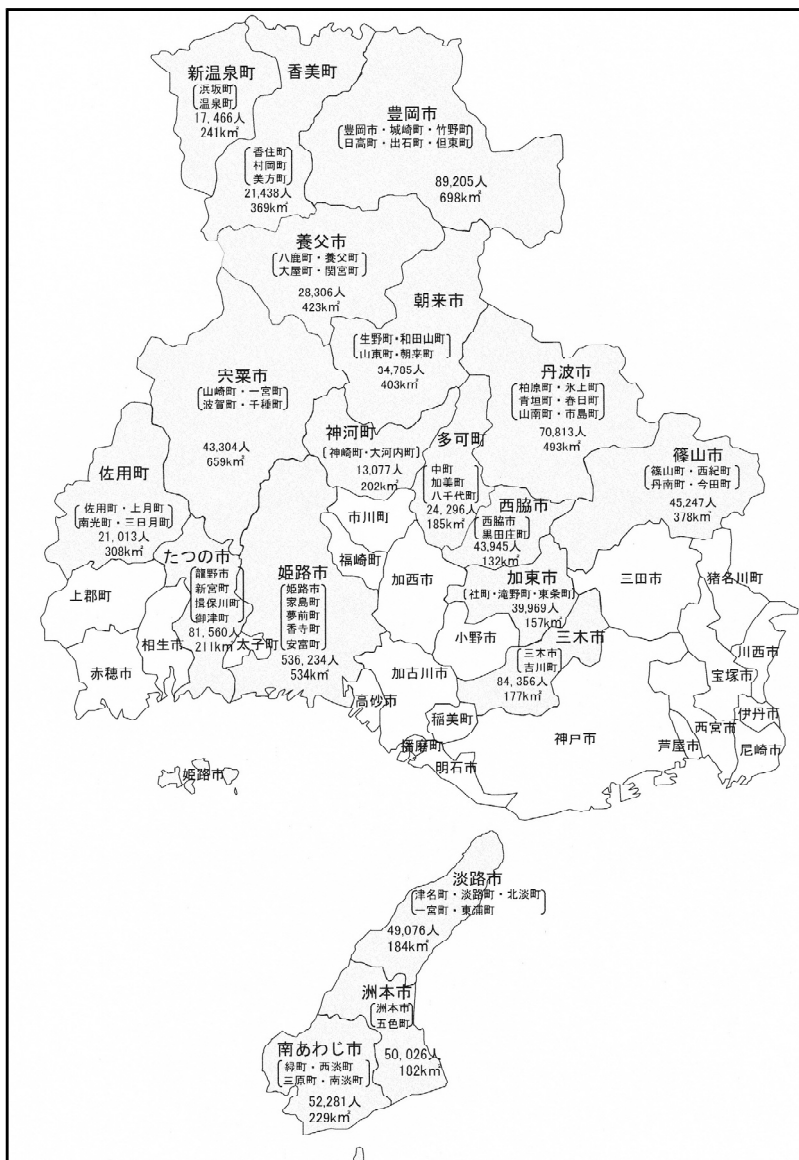
▼財源—学内予算、外部資金（文部科学省、連携する自治体、国土交通省、企業組合等からの競争的資金、助成金、寄付金）など。

▼2013年度・・・県内の自治体、住民団体と約30前後の個別事業を展開

▼連携先—県市町の教育委員会文化財担当、観光振興課、まちづくり課、文書館、自治体史編纂室、図書館、商店街連合会、財産区組合、自治会 etc  
→大学への支援依頼は増加する傾向

▼まちづくり支援の個別事例

- ・形態はさまざまだが、中心となっているのは、具体的なフィールドにおける歴史遺産の活用事業（旧村=大字単位/尼崎富松・丹波棚原・宝塚山本・神戸北野・加西野上）
- ・多くの場合、活動の核となる「地域リーダー」が存在。
- ・区有文書、襖下張り文書、写真・絵図等の歴史資料の掘り起こし→活用（アウトプット）。
- ・「多くの人が地元の歴史を知らなかった」との感想→知ることによって地域への愛着が深まる。



## 二、10年以上の活動を振り返って

### ①画期としての棚原地区（丹波市春日町）での活動

▼旧丹波国氷上郡棚原村／PU事業推進委員会の有志／地区内の区有文書の整理・解読や里山の活用を学びたいという依頼（2006年）／それ以来の連携事業／地域リーダーを主体にした積極的活動／子どもたちへの「つなぎ」を意識／

▼住民・自治体・大学の3者のバランスのとれた活動

相互の信頼関係の構築の重要性→年2回の親睦会を開催。

(cf) 毎年開いている「地域連携協議会」もその一環をなす

### ②フィールド活動（現地入り）することの意義

▼まったく何も知らない土地に行き、地元住民と接触し、現地を歩き、聞き取り等をおこなうことにより、地域社会の現状や地域生活史の一端が見えてくる。

□自己の研究にとって

研究室だけでは得られないものがある／→聞き取り調査やフィールドワークを取り入れた（古代）地域史研究のスタンスへ

□学生たちにとって

関連教科の受講生→「地域社会の中身を初めて経験できた」「博物館の活動を地域の人たちと結びつけることの大切さを知った」「直ぐには出来ないが、結婚して子どもたちを守る活動などに取り組みたいと思った」などの感想。

### ③継承すべき「歴史遺産」「歴史文化」の捉え方をめぐって

（歴史遺産は「ある」ものではなく、「なる」ものであること）

▼聞き取り調査依頼や巡見調査をおこなった時

□われわれの思いとの「ズレ」や「溝」を感じる場合がある

- ・地元の方々の反応：「難しいことは分からんで」「歴史のことなら〇〇さんに聞くとよい」
- ・よそ者への警戒感：「大学の人間は信用できん」「お見せできる古文書など無い」

↓

□地元自治体関係者との共同活動の重要性

- ・市町の担当者の同席（同伴）のもと、調査活動のねらいや、歴史遺産（とくに生活に密着した身近なもの）の掘り起こしと、その継承の意義を語ると理解を得られる。
- ・住民・自治体・大学の3者の信頼関係の構築の重要性

## おわりに

▼県内各地の歴史遺産を取り巻く状況の厳しさ

□北部の中山間部や過疎地においては、家の建て替え時や当主の代替わりの時、江戸時代以来の古文書等が焼却される実態

□自治体合併により（91市町→41市町）、旧自治体の史料群所在情報を未把握の自治体の多さ

▼（しかし）個別の成功事例からみてまだまだ可能性はある

□官学民の3者が各地で信頼関係を構築し、歴史遺産を守り継承させて行く必要。

### （参考文献）

・坂江渉「地域の歴史文化と大学の役割」（『「地域歴史遺産」の可能性』岩田書院、2013年）  
・坂江渉、村井良介「地域歴史文化を保全継承できる人材の育成」（同上）